

## 第2回 商工業振興会議

1 期 日：令和4年2月8日（火）13：30 ～ 15：00

2 場 所：益田商工会議所3階大会議室

3 参集者：委員5名、事務局

4 議 事：意見交換

「新型コロナウイルス感染症に伴う市内業況等について」

「人材不足への対応」、「地域製品のブランド化」

### 意見交換

#### ①テーマ「新型コロナウイルス感染症に伴う市内業況等について」

##### 【委員等からの意見】

- ・まん延防止等重点措置に伴い現在飲食店の多くが休業をしており、コロナ関連で1件の倒産を把握している。
  - ・関連倒産等はないものの、感染状況等を踏まえ今後の動向を注視している。
  - ・資材入荷の遅れや価格高騰、従業員の感染等による工事作業の遅れなどの影響も発生している。
  - ・温泉施設等の観光施設についても、感染拡大防止の観点から休業している。
  - ・借入手続き等の資金需要はあまりない。（昨年度借入金が手持ちとしてある）
  - ・県協力金や国給付金申請に向けた相談や対応が今後増えてくると想定される。
  - ・さらに通常の確定申告対応やインボイス制度への周知等など、商工団体の支援体制も繁忙を極めそうだ。
  - ・そうした中で、県協力金の支給申請が2/21から開始されて、商工団体への問い合わせがさらに増加することが懸念するため、体制整備を検討している。
- ⇒短期的にでも市と商工団体による相談窓口設置（期間、会場、人員等）について検討を行う。

- ・市では、原油高騰等の影響による家計支援のために「地元経済応援券」の発行に向けて準備を進めている。
- ・国県給付金等が示されており、現時点では市内事業者から新たに市に対する支援も求める状況は少ない。
- ・実施の際には、これまで同様に申請事務の簡素化に配慮いただきたい。

## ②テーマ「新型コロナウイルス感染症に伴う市内業況等について」

### 【県立西部高等技術校 岩本副校長】

- ・西部高等技術校主催のデジタル人材育成事業の紹介
- ・連続講座5回に9社が参加
- ・自社の抱える課題に対して、自分達でシステムを構築、運用
- ・取組を通じて、仕事の仕方（流れ）の見直しや改善にも繋がった、との感想

### 【委員等からの意見】

- ・自社でもシステム化による事務簡素化に取組み始めた。
  - ・経費や規則等の課題もあると思うが、より一層行政事務での取組を進めるべきではないか。
  - ・人手不足に対応するために、外国人雇用に取り組む事業所も増えてきたが、現在は入国が出来ずに不足感が増している。
  - ・コロナ禍の影響により、解雇された、生活費が不足しているとの相談を受けたが対処に困ったことがある。
- ⇒市でも同様の相談を受ける場合があり、福祉関係の支援策を紹介したり、担当者へ繋ぐなどの対応をしている。

## ③テーマ「地域製品のブランド化」

### 【委員等からの意見】

- ・ふるさと納税制度については、さらに有効に活用いただきたい。特に寄附が集中する年末にかけての企画商品の提示できないか。また、他市に比べて価格帯が低いように感じるので、高額商品（内容、見せ方を含めて）を企画提示できないか。
- ・年末に実施した産品フェア（宅配販売）では「美都いちご」や「生しいたけ」、「もち」の人气が高かった。
- ・「干し柿」や「合鴨肉」など、想定外の商品が上位にあり驚いている。
- ・寄付者の動向等を知らせる勉強会や、返礼品実績など事業者へのフィードバックも必要ではないか。